

貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成26年8月8日観測結果

8月4日から7日にかけて続いた強い南西風の影響で、貧酸素水塊の分布域は南西方向へ移動し、規模も一時的に縮小しています(図1, 図2, 図3)。

ただ、湾中央部と横浜沖には2.5mL/L以下の貧酸素水塊が存在しており、今後この水塊の動きに注意が必要です。

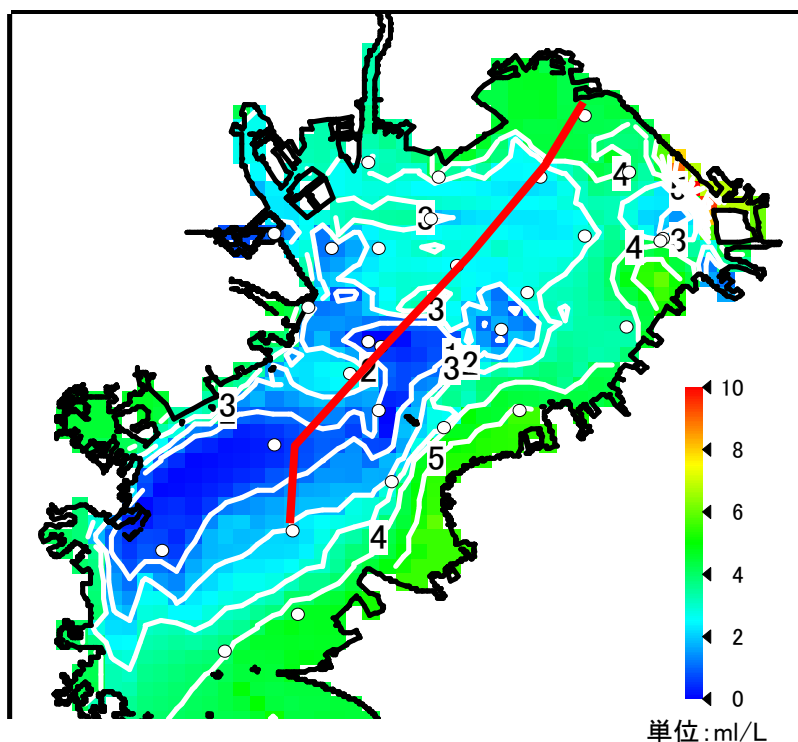


図1 底層の溶存酸素量分布 (赤線は縦断ライン)

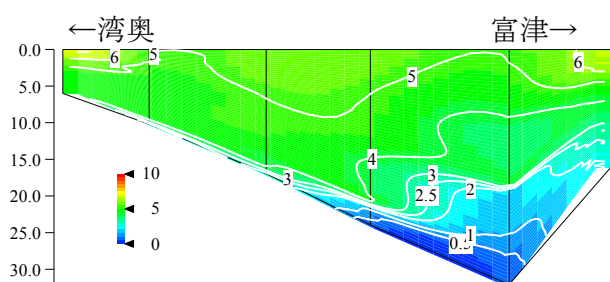


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

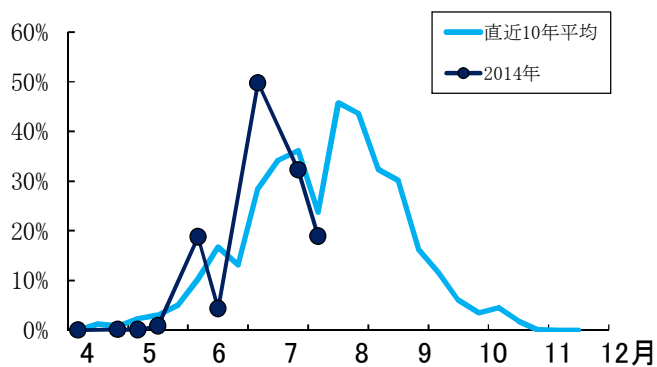


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)